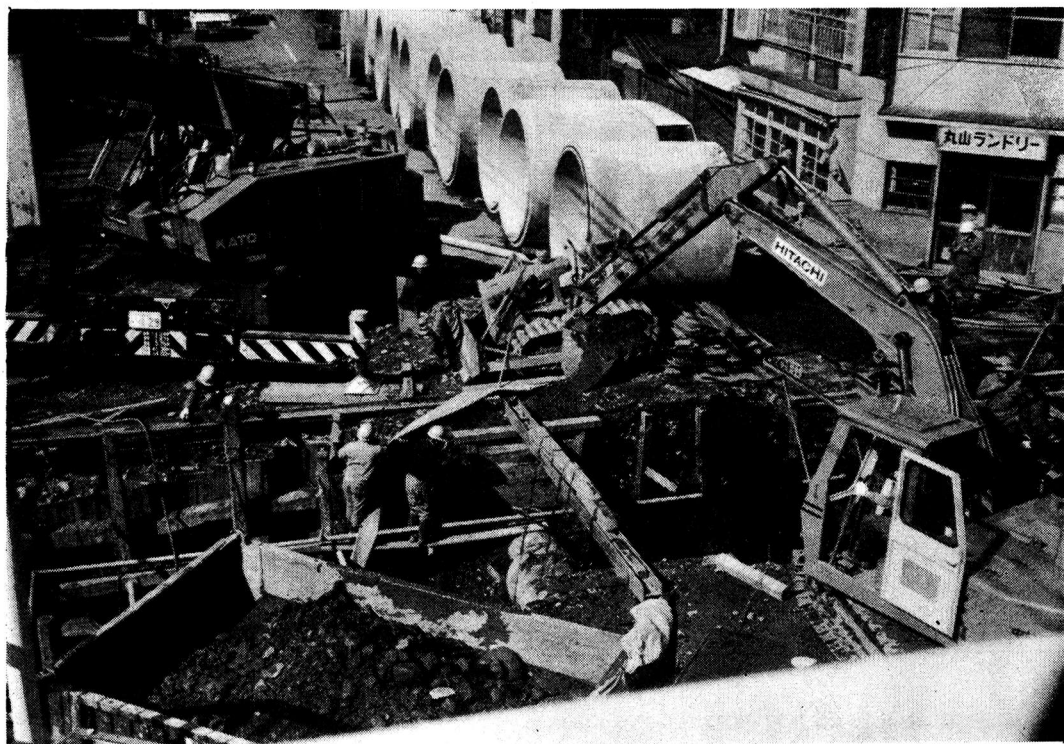


議 会 報

ふつさ

No. 4

昭和46年4月16日
 福生市議会事務局
 ☎ 0425-51-1511(代)



進 行 す る 下 水 道 工 事

自転車競走事業開催権の

獲得促進に関する決議

首都圏整備法に基づく地域開発に伴い、都市化の波は都心から郊外へとのび、わが福生市も年毎に発展し人口も増加の一途をたどりこれに対応すべき教育、土木、福祉、上下水道等都市環境の整備充実が必然的に要求されるに至り、ために財政需要はかさむばかりであり、これらを満たすに必要とする収入財源は不足する状況にあつて極めて憂慮すべきものがある。

よつて福生市は住民福祉の向上を計り諸事業を遂行するために自転車競走事業の開催権を獲得すべくこれが促進について格段の努力をすべきである。

右決議する。

昭和四十六年一月八日

福生市議会

重点的な事業の実施をして行く

市長の施政方針

昭和四十六年度当初予算は市として、初めての記念すべき予算案である。

首都圏のドーナツ現象は一層激しさを増しあくなき行政の拡大と予算の膨張をきたしている。

財政的にみても水道会計を除き四十六年度の予算の合計は十七億五千九十二万九千円になる。この原因の一つとしては昨今の物価上昇による経常経費の増嵩はあるが、行政需用の拡大は市の発展を意味し喜ぶべきであるが、一面昨今の行政の要求の拡大は歳入を上廻り市財政の硬直化をよじよじきたしつづつあるが、近い将来土地開発、都市の改造、市民文化生活の向上のため下水道の建設等かつてみなかった多額の財政投融資が当然予想される。しかも下水道は絶対的に施行すべき事業である。これら多額の予算を要する事業の着手以前に市の社会資本の充実は可能な限り進めなければ悔を千歳に残すことになる。

この際なお一層経常経費を切りつめ積極的な財源の確保、投資的経費の増加をはかり、重点的な事業の実施をしていかなければならない、そこで四十六年度の施策についてはつぎの四点である。

第一に教育環境の充実と強化

(第一小学校分校を独立校とし六教室の増設、第三小学校の増設、教育相談室の開設指導主事の常設など)

第二に社会福祉の増進と市民施設

の充実(両親にかわる幼児の保育に万全を期す、多くの老人に福祉会館の利用を願うためマイクロスバスの配置、市民文化スポーツセンターを柳山公園附近に二、三年の計画で建設など)

第三に環境衛生の整備と民生の安定

(自然を取りもどすための緑化運動の推進、市独自の公害防止、し尿、じん芥に対処できる処理施設の完備、水道一元化に向かっての拡張計画など)

第四に都市開発(加美平区画整理

の完成、多摩河原区画整理の推進、福生駅東口の早期着手、狭い主要道路の舗装、横田基地排水路の継続施行、下水道の計画推進など)

このほか見過ごすことのできない大問題として、米軍横田基地の情勢の変化があり強い関心をもちひたす民生の安定、市民福祉のために努力したい。

昭和46年度各会計予算概要

1. 予算規模

区 分	46年度	45年度	比較増減	増△減率	人口(46.1.1)	
					38,302人	円
一般会計	1,383,490	1,040,000	343,490	33.0	36,121	円
区画整理会計	169,550	86,543	83,007	95.9	4,427	
国保会計	168,133	135,945	32,188	23.7	4,390	
と畜場会計	27,064	33,945	△6,881	△20.3	706	
公益質屋会計	2,192	2,014	178	8.8	57	
公共用地会計	500	90	410	455.6	13	
計	1,750,929	1,298,537	452,392	34.8	45,714	

水道事業会計

(収益的収入及び支出)	(46年度)		(45年度)		(比較)	対前年度
	千円	%	千円	%		
収入	154,956	134,698	20,258	115.0		
支出	152,156	134,631	17,525	113.0		
(資本的収入及び支出)						
収入	85,900	200,750	△114,850	△42.8		
支出	121,222	234,830	△113,608	51.6		

(資本的収入額が資本的支出額に對し不足する額35,322千円は、当年度損益勘定留保資金27,129千円、建設改良積立金8,193千円で補てんするものとする。)

提出議案と結果

(第一回定例会)

- 専決処分の承認を求めることについて(昭和四十五年度福生市一般会計補正予算(第五号)) 原案承認
- 福生市職員定数条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市の一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市用品調達基金条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市公益質屋基金条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市公益質屋の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市営住宅条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市立学校設置条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市消防団条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市都市計画街路築造基金条例を廃止する条例 原案可決
- 福生市の木、市の花選定審議会条例 原案可決
- 財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例 原案可決
- 福生市保育所条例 原案可決
- 昭和四十五年度福生市一般会計補正予算(第六号) 原案可決
- 昭和四十五年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第三号) 原案可決
- 昭和四十五年福生市福生都市計画福生土地区画整理事業会計補正予算(第三号) 原案可決
- 昭和四十五年福生市水道事業会計補正予算(第三号) 原案可決
- 昭和四十六年度福生市一般会計予算 原案可決
- 昭和四十六年度福生市国民健康保険特別会計予算 原案可決
- 昭和四十六年度福生市公益質屋会計予算 原案可決
- 昭和四十六年度福生市福生都市計画福生土地区画整理事業会計予算 原案可決
- 昭和四十六年度福生市と畜場会計予算 原案可決
- 昭和四十六年度福生市水道事業会計予算 原案可決
- 昭和四十六年度福生市公共用地会計予算 原案可決
- 福生市教育委員会委員の任命同意について 原案同意
- 市道路線の変更に ついて 原案可決
- 市道路線の廃止について 原案可決
- 市道路線の認定について 原案可決
- 福生市議会議務局設置条例の一部を改正する条例 原案可決
- 狭山火葬場組合を組織する地方公共団体の数の増加及び狭山火葬場組合規約の変更に ついて 原案可決
- 昭和四十五年度福生市一般会計補正予算(第七号) 原案可決

第一回定例会

第一回福生市議会定例会が、去る三月八日から三月二十二日までの十四日間にわたって開かれまし。この定例会は四十六年度の市政をまかなう各予算案が提案されもつとも重要な議会とされていま。

この定例会で審議された議案は市長提出議案三十件、報告一件、議員提出議案一件、請願二件、陳情三件です。

第一のうち、福生市営住宅条例の一部を改正する条例ほか条例二件、市道路線の変更、廃止、認定の三件、四十六年度の福生市一般会計予算ほか六会計、請願一件をそれぞれ担当の委員会に付託し、慎重に審査した結果それぞれ原案通り可決、請願二件、陳情二件を継続して審査をすべきであるとして、閉会中の継続審査とし、陳情一件を不採択として閉会しました。

昭和46年度 一般会計予算 総額十三億八千三百四十九万円

市制施行後初の当初予算は 三三%増

市制施行後初の四十六年度福生市一般会計の当初予算は各委員会に分割付託し、それぞれの所管分について詳細にわたり審議され、委員会の報告どおり前年度より三三%増の総額十三億八千三百四十九万円が原案通り可決されました。

〔歳入〕

市税 市民税の個人における譲渡所得などによる五八%の伸び、固定資産税で農地転用による宅地増、宅地の負担調整増、新築

住宅の増、その他の市税についても順調な伸びを示しており、前年度比三二・八%の伸び

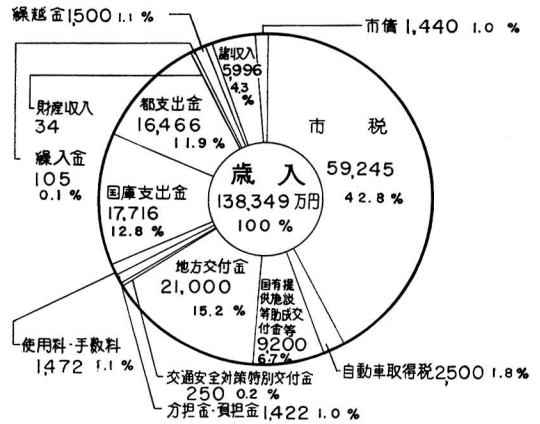
自動車取得税 自動車売上の減少で実績により前年度比七・四%減

地方交付税 前年の実績により前年度比二七・三%の伸び

国庫支出金 市制により福祉関係の老人保護措置費、生活保護費負担金などが新しく追加され、その他防衛道路、横田飛行場周辺排水路、各学校の文部、防衛施設庁の補助などで前年比九二

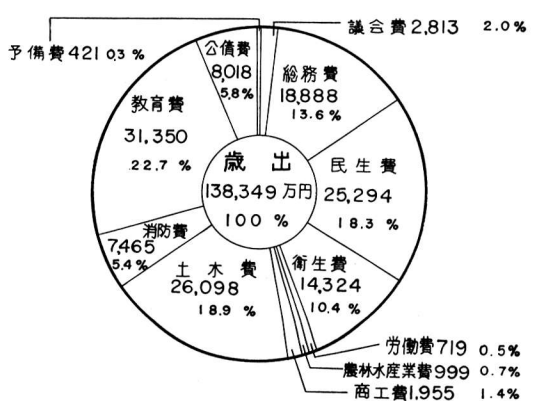
昭和46年度一般会計歳入予算

(単位 万円 万円以下切捨)



昭和46年度一般会計歳出予算

(単位 万円 万円以下切捨)



・二%の伸び
都支支出金 国庫支出金に対する同様の都支支出金などで前年比三六・二%の伸び

〔歳出〕

総務費 回覧を廃止し広報、市のお知らせなど配布員による委託とする、防犯灯維持費の金額及び三割補助、たばこ自動販売機購入補助、各選挙公報、チラシほかの選挙経費、消防団活動交付金、防火貯水槽三基の築造、防災計画書の修正など

民生費 社会福祉協議会に業務委託する学童保育委託料、生活保護世帯の水道料金の市費負担、身体障害者の補装具扶助、精神

衛生費 各種の予防接種、健康診断費、伝染病院組合負担金、医師の予防接種賃金、環境衛生用乳剤、公害防止事業に基づく委任事務としての公害対策費

薄弱者の施設収容措置費、老人家庭奉仕員の賃金、福祉会館の維持管理費及び送迎用のマイクロバス購入、無認可保育所補助第三子からの児童手当、市立保育園の完全給食、生活保護者二〇〇世帯、四〇〇名の各種扶助費など

商工費 四十五年度から設けられた中小企業振興資金の預託金、商工会への補助金、七夕まつりの委託料など

土木費 市道補修用資材、第四小PTAから陳情のあった玉川上水木橋のかけ替工事、主要市道未舗装分の舗装、基地排水管理設後の整備、清水坂の改修、六小周辺の道路整備、ガードレール、照明灯など交通安全施設工事、ワラ付街道千四十五メートルの築造工事、横田飛行場周辺排水路工事延長など

教育費 教育相談室の開設、小学校全校の雨水排水工事、小学校の冷蔵庫購入、独立校となる第六小学校普通教室三、特別教

室三、第三小学校特別教室三の増築工事、文化財の発掘調査報告書の複製福祉会館内の図書室の図書購入、吹奏楽団の備品として楽器購入、市民総合体育大

市民生活の直結費目について質疑

質疑 市民税は前年度の補正を加えたものに比較しても更に増額されているが国会で審議中の地方税法の改正による免税点の引上げがなされても、当市では影響が薄いというがこの点どうか

答 今回の税収は、目いっぱい見込んだものであるいは、各税目により多少少ないものもあるかも知れないが、市税全体の見通しとしてはこの程度入ると考える。

質疑 基地交付金は前年度補正されたものをさらに二〇％増額しているがどうか

答 基地交付金は国の予算が増額され、昨年度から調整交付金が増額されている。基地交付金、調整交付金を合せこのくらいにはなる見通しである。

質疑 民生費国庫負担金と都の支出金は市制による生活保護費など市の負担に関連するものであると思うが、都支出金の減額について説明願いたい。

答 市制施行により生活保護費の負担が国十分の八、市が十分の二の負担となる、都支出金については、本年度は福祉会館、つくし保育園の完成により大巾な減額にな

会経費、市民プールの維持管理費、仮称市民文化スポーツセンターの継続事業のための当初の経費など

っている。

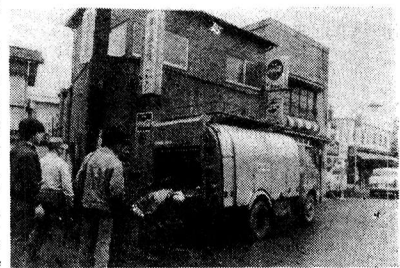
質疑 職員の給与、土地開発基金などに要する経費は、当初予算で全額計上してないというが、職員の数増があり、前年度の実績から相当の増額が予想される。財源確保は競争事業の収益を充てるといふが、事業が遅れ又は収益がそれまで達しなかった場合、職員の給与などどうするか

答 給与、報酬など人件費が見込まれるが、その財源については競輪収入が一億円程度に入ると思いう、現在六月開催ということを通じては大体五月末から六月初旬に確定の線が出ると思う。

質疑 たばこ自動販売機購入補助は今後も計上される補助金であるか。

答 たばこ自動販売機購入補助は四十五年度で一台、四十六年度分一三台を計上した。現在タバコ小売店は市内五九店ほどあり今後三年から五年計画で継続し、タバコ消費税を伸ばして行きたい。

質疑 老人家庭奉仕員(ホームヘルパー)、未認可保育室補助について伺いたい。



収集作業のじん芥車

答 老人家庭奉仕員一人を予定している。この財源は都が三万円、市が一万円うわのせしてお願している。現在人を求めている。最近一人やってみたいとの申し出があり予算計上した。

未認可保育所は志茂の森田保子健康センターにいる零才児に対して都が児童一人当り二千円の補助をしている。現在定員は十五名になっているが定員をふやす希望があるようだ

質疑 じん芥処理委託料で最近登録されてない人のじん芥が多く委託費の増額をせざるを得ない、聞くが世帯増を見込んでいるか、また、水洗便所の補助について伺いたい。

答 じん芥処理は、ハウス関係の外人もじん芥を出し、市民、業者から増車の要望があり一台追加して六台でじん芥収集をやって行く、水洗便所の補助については、

暫定的に四十六年度は一世帯当り二千円の無料券を発行し処理にあたる。

仮称市民文化スポーツセンターの構想を知らされたい

質疑 第二中学校で行なわれているミルク給食は妥当と認めている

質疑 仮称市民文化スポーツセンター建設費一千六百四十三万円が計上されたがこの構想などについて説明願いたい。なお、市民会館の建物の改造についてどのように考えているか。

答 起債の決定が遅れ当初予算に計上できず、予算措置をした。ただがこの建物を造りたいと思った動機は、交通問題、あるいは公害に対する積極的な対策ならびに近所同士の親密感の向上などいろいろの目標がある。また、市内に集会場がないので多目的に使用したい。大体集会は三千人ぐらい入れる。

か 答 二中のミルク給食の関係は、今後完全給食を実施するかどうかこれらの課題として両中学校を対象にいろいろ検討していきたい。

るものとし、剣道場、柔道場、会議室、シャワー室、準備室、また子供連れの母親の子供を一時預かる場所などいろいろつけると四千方メートルぐらいの二階建になる。本年度着工したいと思うが二年か三年の継続事業と考えている。

市民会館は水道の一元化が予想されるので水道施設も含め使いたい、現在の建物は平面であるが、市民会館となると階段式の部屋にしたいと思うが水道の一元化ができてからのこととして考えている。

福生市教育委員会委員に

井上卓三氏を再選

福生市教育委員会委員の井上卓三氏が三月二十三日をもって任期が満了になりました。

同氏を再び教育委員として任命したいとして、議会の同意を求めたもので全員一致で同意されました。

- 一、住所 福生市大字福生四八七番地
- 二、氏名 井上卓三
- 三、生年月日 明治四十一年五月二十八日生
- 四、職業 農業

第一回定例会における一般質問は、六人の議員により市の諸施策福祉行政などについて行なわれました。紙面の関係で一部割愛しましたが、要旨はつぎのとおりです。

老人ホーム施設の建設の 考えは

質問 わが福生市においても昨年限立派な福祉会館が建設され、老人の憩いの場ができ感謝している。しかしながらもう一歩進めて老人ホームの施設が必要と考える。当市には希望者もおり市外の施設に依頼している。中には、はずかしいと拒む老人もいると聞くが、現在の世相からみて今後の老人問題は相当深刻なものがある。都あるいは福生市において施設の建設の考えまた、私立の老人ホームの受入れの用意があるか。

市長 地方自治体の日常の行政は福祉行政であるといわれているがただ地方の一自治体を取り上げているところは極めて少ない。当市においても財政の状況からどうしても市民全体の利益をうるような施設が優先して、そこまで手が届かないがいつかは当然建設しなければならぬと考え。都の方針も市街化地区でなく環境のよい場所の意見で敬遠されるむきがあるが建て建設の場合は運動をいたしたい。篤志家が建設してくだされ喜んで受入れ態勢をつくりたい。

福生市全域にわたる下水 道の計画を立てられたい

質問 福生市の下水道の現状をみると、地形的その他いろいろむずかしい問題があり、地所の狭い家では吸込を掘る場所もなく環境衛生の見地からまた、公害の面からも福生市全域にわたる下水道の計画を立てるべきである。この資金は数十億円にもなると聞くが国からの補助、基地の町としての立場、条件から防衛庁補助を得て残りを長期計画としたならば至難ではないと思うがどうか

市長 市の下水道の着手につき一番問題は処理場である。建設省と都の計画は三多摩をいくつかのブロックに分け組合に依り処理するような形になっているが、過日関西の処理場を視察したが百万人からの処理能力のある大きな処理場であり、当地区の処理場についてもそのように希望して来たがその結果確定はしてないがやや好転していると聞いている。処理場が決定したならば早期に市の計画決定、事業決定を着手しなければならぬと考え。市の公共下水道の設計は、市全般にわたりすでに設計図は完成している。現在施行中の基地排水路及び区画整理内の雨水排水管はす

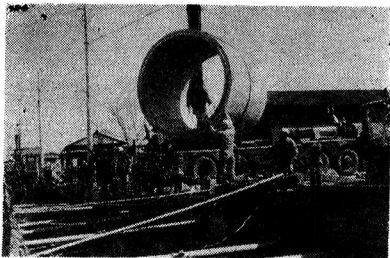
一 般 質 問

で下水道の本管につながるよう設計している。都の多摩川浄化対策も十年以内に下水道管を埋設することになるが莫大な財政負担があり、処理場は都と国が建設するとしても流域下水道の本管あるいは一部処理場の負担もある。市の負担の半分は起債を出すということになっているが、今後公共下水道の関係市町村が一致して国と都の負担を増すよう猛運動しなければならぬ時期に来ている。

地震が発生した場合の 避難場所、指導、救助 対策の考えを伺いたい

質問 最近大地震近しの声がクローズアップされている。災害は日頃の注意と心がけて最小限に被害をくいとめることができる。当市の場合最近高層建築が増加し、商店街など建物が増集し更に危険なガソリンによる自動車の交通が激しく、大地震が起きた場合は火災が起りやすい、国および都の指導と救援を待つ前に万が一そのような事態が発生した場合の避難場所あるいは指導、救助対策などを市長はどのように考えるか

市長 市において昭和四十三年に防災計画をかなり詳細にわたり作り消防団などについて再三はかたが一般へのPRが不足し申しわけない。先日のロスアンゼルス



埋設される下水管

の地震に国、都において調査団を派遣し、その体験を参考にした防火計画を作り各自治体の指導をすることになっている。市においても先日四十三年度の防災計画の訂正をした。地震が起ると、第二次災害の火災が非常に大きなウェイトを占めるので火の始末、避難場所、家庭におけるある程度の必需品のそなえなどについてPRしたい。

市としても防災計画をねりなおすと同時に火災などの際の必需品についても備えたい。

在宅障害児に対し教師を訪問させて義務教育の課程を終了させる制度の考えは

質問 この世に生をうけながら不幸にして身体がままならず、また幼くして神終のまひにおかされ、夢多き幼年を希望も目

的もなく過している姿をみると是非義務教育だけは終らせてやりたい。これらの身体障害児に対して教師を訪問させ義務教育を終了させる制度を講じる考えがあるか

教育長 身心の故障のため普通の小学校にいけない児童に対しては、都道府県が専門の学校を設置し、これらの子供たちに特殊教育を実施することが法律で義務づけられている。在宅障害児の訪問指導は現在二十三市中二市が在宅のまま通学の免除を受けているが、この制度はまだ試験的な段階で都の指導方針もはっきりしてなく、運用あるいは指導上多くの問題がある。教育委員会では近い将来市内の各校に特殊学級を設置したいという目標で昨年四月から教育相談室の研究を進めており、今後前向きな姿勢で検討して行きたい。

老人手当の支給を一率に

質問 福祉会館内に老人の憩いのセンターを開放し、おとしよりから非常に感謝されている。また七十五才以上の方々には年金制度を設け労をねぎらっているが、現在の制度は七十五才以上七十九才まで一千元、八十才から八十九才まで二千元、九十才以上が三千元となっているが、七十才代ではまだ達者で小使もかかる年代で、逆に九十才になると冬季などは寝たきりの方が多く現行の支給方法は、格差をもった逆のいき方だ、この支給を一率にし、年令もできるなら

七十才ぐらいから支給すべきである。今後改正される計画をもって

市長 条例制定のときは、年令による差のついた市町が多かったが、最近均等に支給するよう条例改正がされるところが多く当市において

生活保護家庭の人たちを温く見守るため医師との橋わたしの努力と都立病院の誘致をされた

質問 福祉事務所では病人が発生すると日曜、祭日、夜昼をとわずにだちに医療券を発行するが医師に

再度要望する。市民の安住をはかるうえからも総合病院の設置が必要である。幸い福生には国保連合

福祉事務所長 生活保護家庭の診療に問題はない、内科医でなく歯科医で福生では生活保護法の指定医は福生病院ばかり一医院で

れるよう法の改正も必要である。市長 福生病院の都立への移管という

福生、牛浜駅周辺の総合開発により中小企業の育成を

質問 福生駅東口開発により西口が問題になってくる。現在西口を起点としているバス

駅東、西口とも商店街併用駅ビル、アパートを建築したならば大きく発展する、市役所

成こそ今後の市の課題で都、国に對して融資の斡旋を行ない、低率に長期返済をはかり、商工業従業員、独身寮の建設、結婚する若い

一 般 質 問

安定した環境の中でより充実した勤めができるようにすることにより、市外での買物の流出を防ぎ、

市長 西口の商店街の育成指導あるいは、市街地開発については意

報ぶつさ」に福生駅西口開発に関する考察を掲載している。バス運行は開発が進めば

質問 補助道一号線は排水などの立地条件が悪く十年近くも放置されている。また引込線の用水

爆音の下にある補助道一号線の整備を

この地区は爆音、飛行機の墮落の不安に悩まされており、基地周辺の民生安定の面から最少限度の実現を切に願う。

市長 補助道一号線については、現状のまま三分の一ばかり舗装した。この地区は横田基地へのガソ

米軍の削減による市の経済影響は 質問 当市には二千戸以上のプラ

米軍の削減による市の経済影響は

質問 補助道一号線は排水などの立地条件が悪く十年近くも放置されている。また引込線の用水



現在の西口商店街

議 会 日 誌

- 一月 元旦 ご用始め 都地方課へ六市議長により 競輪陳情 新年挨拶廻り、議会運営委員会 8日 新年初顔合はせ、立川市へ六市議長競輪陳情、第一回臨時会、全員協議会、議員親睦ソフトボール大会 10日 消防団出初式 11日 新年挨拶廻り 14日 東京都市議会議員研修会 成人式 15日 三多摩上下水道路建設促進協議会 22日 立川横田基地対策協議会役員会 26日 国保運営協議会 27日 宮城県塩釜市議会来訪 28日 三多摩上下水道路建設促進協議会 二月 1日 拜島CTC完成披露式 3日 全国市議会共済会代議員会 八市競輪協議会 4日 議会報編集会議 厚生委員会 6日 日米連絡協議会、明るい選挙推進協議会結成大会 10日 西野議長会 12日 福生伝染病院組合行政視察 (13日まで)

ないものがある。最近これらのハウスの空家、商店街の売り上げも次第に減っていると聞く、これら市におよぼす経済的影響ならびに対策について市長の考えは、市長 米軍は六月いっぱい、ファントムの沖繩移駐を以後は施設部隊を新設して飛行場の維持管理をし、輸送機の中継基地としての使用をし人員は減るが基地の縮小はないといっている。

昨年暮れハウスが空家となったが現在はまだ入居している。また商店街の売り上げはたしかに減っ

競輪開催権の獲得

促進について決議

昭和四十六年の第一回臨時会は一月八日招集されました。この臨時会は競輪事業の開催権の獲得促進について、運動を続けてきました。その結果、昭和四十六年度から開催するには、一日も早く議会の意思を決定して、関係方面にはたらくさなければならぬと、議員提案による自転車競走事業開催権の獲得促進に関する決議案一件だけの臨時会となり原案どおり可決されました。

第一回臨時会

提案理由の説明 福生市は先見の明があるので横田商栄会についての都の商工診断を本年一月までに繰り上げてお願いした、結論はどうしようもないとも受け取れたが、基地依存から脱皮は国際色と若者の町でと新聞は報じており、むづかしい問題であるが基地商店街については市として行政面からの援助になり、市商工会等一丸となり解決策に向わなければならないと考えらる。

NHK受信料減額は市全域に

英智によりまして、早くより都市計画にもとづく開発を推進し、今日にみられることと進展をとげ、昨年七月におきましては待望の市制も実現し、さらに躍進が約束されております。

しかし一方においては教育をはじめとする諸事業が山積し、これがために諸財政需要はかさむ一方で、これをまかなう諸財源は不足するばかりであって誠に憂慮すべき状況にあります。

これを打開し住民福祉につながる行政を推進せしめるには一に競輪事業の開催権を一日も早く獲得し、財源の確保をはかるべきではないかと考えるものであります。本市は議会、理事者がうって一

公害の一環としNHKがテレビの受信料を飛行場の飛行方向五キロ、秒速一キロと定めているがその実施範囲の矛盾におどろいている。当市ではテレビ受信世帯のうち七六%が半額で残り二四%が全額支払っており、市民が差別待遇されている感じをいだくのは当然である。この地区がどれだけ騒音の差があるか、市長は市内全テレビ受信世帯の半額についてNHK防衛庁に交渉する考えがあるか、市長 NHKの受信料減額は防衛庁は市を擁護する立場で市の希望

市民福祉向上のため活用すべきだ

競輪開催について論議

丸となり本件獲得運動に挺進すべきではなからうかと存じ、当決議案を提出した次第でございます。

質疑 日本の敗戦のどん底においてギャンブル財政ができたが、今日では立派に復興し、自治体の財政もよくなり生活も向上してきた、地方自治体がギャンブル財政をあてにするとは間違っている。競輪でいろいろ問題が起り生活も破壊してしまうこともある。福生市は地財法まで受けたが他市町村に比較して学校も道路も非常によくなった。それでもギャンブル財政にたよらなければならぬという事は、市の将来に禍根を残すことになると思う。

通り運営してくれるわけだが、肝心のNHKが全国的な措置で、福生市の場合滑走距離から一キロを一・五キロに上り上げておられる以上はだめだということである。そのような態度であっても市としては減免範囲の拡大という要望を大いにやっけて行く、なお、画面のゆれについては防衛庁が共同アンテナの設置を考えており結果がよければなんとかしたいと云っている。

質疑 ご意見は当然とは思いますが、以前から市長より今後の財政のカバーをする意味からもこれを遂行していきたいという方針が述べられていくわけであり、都市町村が廃止してもそれだけの財政援助のうら付がなく、市民福祉向上のためにこれを活用すべだと思つて。

質疑 ギャンブルはよいことではないが新しく市となって今後財政は苦しくなることははっきりしている。すでに開催している市では相当の財源を得ているわけではあり住民福祉につながる財源である。理由はともあれ財源獲得のために必要だと思つて。

15日	全員協議会、都市下水道組合議会、三多摩上下水道建設促進協議会
16日	都市計画審議会
17日	総務委員警察懇談会
18日	都市議会議長会
20日	全国市議会基地協議会総会(19日まで)
23日	西多摩衛生組合議会全員協議会
24日	都市議会議長会定例会
26日	常任委員長会議
26日	西多摩議事事務局会議
3月	
1日	議会運営委員会
2日	福生地区消防組合議会
3日	戦没者叙勲伝達式
4日	青梅羽村福生都布下水道組合議会
8日	加美平区画整理審議会
9日	第一回定例会、全員協議会
12日	日米合同委員会、総務委員会
14日	母子家庭中学生卒業激励会
15日	厚生委員会
17日	建設委員会
19日	議会運営委員会
20日	消防車入魂式
22日	第一回定例会(第二日目)
23日	福生伝染病院組合議会
24日	西多摩衛生組合議会、三鷹田無両市議長訪問
25日	狭山火葬場組合議会、多摩河原土地区画整理審議会協議会

請 願 と 陳 情

第一回定例会における市民ほかからの提出のあった請願、陳情についてお知らせします。

不採択となったもの

陳情第十四号 収益事業（競輪）の開催権の付与団体加入に関する陳情書

この陳情は新しく市制施行の六市で競輪事業開催権を取得するため運動しているがこれに対して、稲城町から京王閣、東京競馬場、多摩川競艇場が隣接し交通混雑による商業の活動に大きな障害となり、さらに町民の日常生活に大きな被害をうけ、十年以上にわたり開催権をもつ団体の犠牲になっているので競輪開催権の付与団体に加入をお願いしたいとの陳情です。

この陳情は総務委員会に付託し、審査した結果事情は了とされる

も他市との関係もあり現況は願意にそいがないとの理由により不採択となりました。

提出者 南多摩郡稲城町百村七番地 稲城町長 高橋昌太郎氏 稲城町議会議長 原田芳次郎氏

継続審査となったもの

請願第三号 零才児保育に関する請願書

提出者 福生市本町七五番地 間上フジ子氏ほか五七名

請願第一号 児童遊園地設置に関する請願書

提出者 福生市志茂一〇五

鈴木貞雄氏ほか二三名

陳情第七号 行政区の変更に關する陳情書

提出者 立川市砂川町三二六 三番地 土屋芳一氏ほか一三名

陳情第十一号 し尿浄化槽の汚物の収集許可に関する陳情書

提出者 立川市錦町六丁目十番九号 三多摩清掃事業協同組 合理事長 吉川 潔氏

福生市大字福生一〇三四番地 福生清掃社 瀬古周吉氏

西多摩郡秋多町草花二八三番地 島田産業有限公司代表取締役 島田金重郎氏

縮役



公益質屋の基金を百万円増額

六百万円に

貸付金額を一世帯十万円以内に増額

福生市の公益質屋は基金五百万円をもって貸付業務をしていましたが、新規利用者の増加と諸物価の値上りにより、貸付金額を今まで一口二万円以内一世帯五万円以内であったものを「一世帯について十万円以内」に引きあげられましたが、このために貸付金に不足を生じないよう公益質屋基金を百万円増額し六百万円となりました。

福生市市の木、市の花

選定審議会が発足

福生市の緑化をはかるために、市内の公共的団体などの代表者、そのほかの市民のうちから委員十人以内で審議会をつくり、市の木、市の花について調査審議することになりました。

熊川下河原に四月一日から

つくし保育園が開園

熊川の第五小学校の隣りに仮称下河原保育園として工事を進めていましたが、名称も乳、幼児がスクスクとつくしのように明るく元気に育つよう「つくし保育園」として開園し、熊川地区の保育に欠けるみなさんに四月一日から利用していただくことになりました。

議 会 を 傍 聴
し ま し ょ う
第 2 回 定 例 会 は
6 月 に 開 か れ ま す

編 集 後 記

「議会報ぶつさ」第四号をお届けいたしました。本号は第一回定例会を中心にお知らせしました。この定例会は市制後初の当初予算で各会計の四十六年度一年間の進むべき方向を決める最も大切な予算審議がなされました。また、一般質問も市政の全般にわたって活発に行なわれました。それぞれの議案、一般質問について紙面の関係上すべてについてお知らせできませんでしたが、今回は多数の方々の傍聴をいただき議会の内容をみてくださいますようお願いいたします。議会報に対する皆さまのご意見をお待ちしています。